

☆☆☆2014年秋季ゼミナール☆☆☆

JSC ゼミナールは業界の第一線で活躍されているプロフェッショナルな方を講師にお招きして、専門知識を高めるジュエラーの勉強会です。

今回はダイヤモンドについて二部構成で行います。第一部として、ダイヤモンドの原石の特徴とそのグレーディングについてご紹介致します。日本ではあまり見られないダイヤモンドの原石ですが、それがカットされて日本の市場に届くまでにはいろいろな工程があります。今回、実際にダイヤモンドの原石を手にとってグレーディングを体験して頂きます。

第二部として、ダイヤモンドの美しさに影響を与える要素から、ラウンドのアイディアル・カットに限らず、ファンシーシェープにも適応できるダイヤモンドの評価体系とその考え方を紹介致します。こちらでは3Dプロジェクターを用いて、立体的にカットのモデリングをご覧頂きます。

日頃ご覧になっているダイヤモンドの美しさを分析し、その理解を深めて頂き、既存のグレーディングでは表現しきれないダイヤモンドのパフォーマンスを感じ取ることが、お客様に過不足なく宝石の真の姿を伝えるに欠かせない自信となり、宝石のプロとしてお客様に信頼され、販売する宝石の価値と販売する人々の価値観を高められると考えています。お誘い合わせの上、是非ご参加ください。

記

◇日時 平成26年9月25日 木曜日 13:00～17:00

◇会場 南船場会館 大阪府中央区南船場3-7-12 電話 06-6241-1008

地下鉄御堂筋線「心齋橋」駅下車、北心齋橋商店街を北（本町）に向かい「がんこ寿司」を右に曲がる

◆テーマ 「ダイヤモンド原石の特徴とそのグレーディング法」
「ダイヤモンドのカットパフォーマンスの評価」

◇講師 Dr. Yuri Shelementiev ユーリ・シェレメンティフ博士 (PhD: 結晶学)
モスクワ国立大学 宝石研究所 所長,ダイヤモンドにかかわらず宝石のカットやその評価に対する国際特許多数

◇通訳 古屋正貴 (ふるや・まさき) 氏 日独宝石研究所々長 E.G. D.GemG. G.G. C.G.J. MBA

◇会費 会員 5,000円 (会員外 8,000円)

非営利のJSCは真のジュエラーの姿を追い求め、専門知識を相互教育により高めることを目的とし平成6年に発足しました。

..... 申し込み書

氏名 _____ 住所 〒 _____

Tel _____

e-mail _____

業種 (メーカー 卸 小売り 加工 デザイナー 鑑別 教育 貿易 その他) _____
勤務先 _____

◇研究会 参加 不参加 ◇懇親会 参加 不参加

申込先: 松室明雄宛 9/11(木)までに FAX: 072-331-1400 TEL: 072-331-1500 gem@matsumuro.com

1) ダイヤモンドの原石の評価の方法

日本ではあまり見られないダイヤモンドの原石ですが、それがカットされて日本の市場に届くまでにはいろいろな工程があります。それについてご紹介すると同時に、原石でも行われているグレーディング方法をご紹介し、実際の石を使い体験して頂きます。

まず、ダイヤモンドの原石にもいろいろな特徴があります。それは形状、色、内包物などいつも我々が目にするカットされたものでは見られないものです。

また、それがどのように日本のような市場に流通してくるか、の中で重要なのが原石のグレーディングです。カットされたものにグレーディングが行われているように、原石にもグレーディングがあります。そのエッセンスをご紹介し、実際にダイヤモンドの原石を手にとってグレーディングを体験して頂きます。

そして、その原石をどのようにカットしたら最も価値が高くなるか、カットのプランニングも重要で、どのようにプランニングが行われているか、ご紹介します。ダイヤモンドに携わる皆様に、いつもご覧になっている状態の前のダイヤモンドがどうなのか、知って頂き、ダイヤモンドへの理解を深めて頂ければと願っております。

2) ダイヤモンドのカットパフォーマンスの評価

ダイヤモンドのカットについては、アイディアル・カットを元にした評価方法が広く用いられています。しかし、そのダイヤモンドのカットの良さは果たしてどのように考えられたものでしょうか。ダイヤモンドのカットが与える美しさをブリリアンス、ファイア、シンチレーションの3つの元に戻って考え、またそれに影響を与える要素を一つ一つ、考えていきます。ダイヤモンドの美しさに影響を与える要素として、人の目の特性として明るく感じる要素や光の反射の影響を考えていくと、ダイヤモンドの中に出来る影によるコントラストの重要性や、ファセットのサイズの重要性、ファイアの重要性が見えてきます。

これらの考え方を元に、アイディアル・カットに限らず、ファンシーシェープにも適応できるダイヤモンドの評価体系とその考え方をご紹介していきます。Yuri 氏を初めとしたモスクワ州立大学のチームが立案した評価体系は、世界の大きなラボでも採用が検討されています。

また、これらはダイヤモンドの3Dモデルを用います。講習会では3Dのプロジェクターを用いて皆様にご覧頂きながら、説明していきたいと考えております。日頃ご覧になっているダイヤモンドの美しさを分析し、その理解を深めて頂き、既存のグレーディングレポートでは表現しきれないダイヤモンドのパフォーマンスを感じて頂くきっかけになればと願っております。

講演としては原石のカット評価など日本ではあまり知ることが出来ないことでもあり、又3Dの技術など最先端なものでもあり、楽しんで頂けるだけでなく、日頃取り扱っておられるダイヤモンドへの理解もより深まるのではないかと考えております。